

道路（河川等）工事承認書・占用許可申請書作成の手引き

1 申請書記載手順について（記入例に記載している○番号に対応しています）

- ① 該当するものを○で囲んでください。
- ② 該当するものを○で囲んでください。
「変更」は現在許可を受けている許可の内容を変更する場合です。
- ③ 申請書を提出する日付を記入してください。
- ④ 申請者が法人である場合には、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載してください。
- ⑤ 「担当者・電話」の欄には、所属・氏名と連絡先を記載してください。
- ⑥ 該当の条項を○で囲みます。24・32条は申請、35条は協議に○をしてください。
- ⑦ 「占用の目的」の欄は、占用する具体的な理由を記載します。

【例】○○邸解体工事のため。

進入路設置のため。

排水管（○○管）埋設のため。

電気通信設備（電柱・電線・支線・接地棒 etc）設置のため。

舗装復旧（仮舗装・本舗装・オーバーレイ）のため。

- ⑧ 占用場所の市道・農道路線名、里道、水路、公衆用道路等の種別を記載してください。
- ⑨ 「車道・歩道・その他」の欄は、該当するものを○で囲んでください。
- ⑩ 占用場所の住所を地番表示で記載してください。

占用場所が2ヶ所以上の地番にわたる（施工区間が長い）場合などは、起点と終点の地先を記載してください。

【例】○○町□□地先～△△地先までの間

○○町□□地先ほか

- ⑪ 「名称」欄は、「布設する資材の名称」「構造物の名称」など具体的に記載してください。
- ⑫ 「規模」の欄は、官民境界線からの公共区域内の延長や幅を記載してください。
- ⑬ 「数量」の欄は、面積を記載します。（小数点3位以下を切り捨て $0.023 \text{ m}^2 \approx 0.02 \text{ m}^2$

※数量について、管路等は配管延長×外径を、舗装は施工面積を、電気通信設備類は配線延長や箇所（本）数での記載としてください。（埋設後において再度掘削予定工事が発生した場合に実際の埋設延長等が現場管理に必要なため）尾道市の場合は垂直投影面積としませんのでご注意ください。

【例】

⑪名称	⑫規模	⑬数量	
仮設足場	1.0m × 10m	10 m ²	幅 × 延長
進入路 コンクリート床板 グレーチング蓋	0.3m × 4m 〃	1.2 m ² 〃	幅 × 延長 〃
管路等 V U Φ100 マンホール類 分岐・閉栓	2.0m × 0.106 = 0.212 0.50 × 0.50 × π = 0.785 ○箇所	0.21 m ² 0.78 m ² ○箇所	距離 × 外径 〃 箇所
構造物・2次製品 コンクリート擁壁・L型 擁壁等の長尺物 集水枡などの点在する構 造物等	1.0m × 0.55m = 0.550 0.50m × 0.50 m × 2 箇所 = 0.500 m ²	0.55 m ² 0.50 m ²	幅 × 距離 (構造物基礎がコンクリートの 場合は基礎寸法)
舗装 アスファルト舗装・ コンクリート舗装等	幅 1.0m ~ 2.4m、延長 50m 1/2(1.0+2.4) × 50 = 85.000 m ² ※上記にかえて、「別紙(図面・ 数量計算) のとおり」でも可	85.00 m ²	幅 (平均幅) × 延長 数量の根拠が、図面又は数量計 算総括表等で確認できること
電気通信設備 電柱・支柱 電線 支線 その他 (変圧器ほか)	H8m C V -2C × 100.14m 光ケーブル○○ ○箇所 〃	1 本 100.14m 〃 ○箇所 〃	本数 延長 〃 ○箇所 〃
※箇所が多い場合は上記にかえて、「別紙一覧表のとおり」とし、別添の一 覧表でも可。(但し、数量等が明確にわかるものを添付のこと。)			

※数量欄の面積は規模欄で計算した数量(小数点以下 3 位止め)を合計し、小数点以下 3 位切り捨て 2 位止め。

- ⑭ 「占用の期間」の欄は、必要な期間を記載します。日数を忘れずに記載してください。
なお、許可日からの占用を希望する場合は、占用の開始日欄に「許可日から」と記載してください。(工事を行う期間も含まれます。)
「工事の期間」の欄は、占用物件を設置等するための工事の期間を記載します。
- ⑮ 「占用物件の構造」の欄は、「別図のとおり」と記載して、申請書に占用物件の構造図等を添付してください。なお、足場であれば、「単管足場」等を記載します。
- ⑯ 「工事の実施方法」の欄は、交通規制の形態「片側交互通行」又は「諸車通行止」等を記載します。合わせて工事の工法「開削・推進・舗装打替え・オーバーレイ・盛土など」を記載してください。
- ⑰ 「道路の復旧方法」の欄は、「原状復旧」「仮復旧・本復旧(R○年度予定)」と記載してください。
- ⑱ 「添付書類」の欄は、「位置図・平面図・縦断図・横断図・構造図・現況写真」など、申請書に添付する書類名を記載します。

2 添付資料等の作成要領

大きさはA3またはA4サイズで作成してください。

① 位置図（市販の地図を利用することも可能。）

目安となる駅、建物等を記載し、占用場所を赤色（○印）で記載します。

② 平面図

占用物件の位置、延長、幅、面積、道路（官民）境界を表示してください。占用物件は赤字で表示し、方位、縮尺等を記載します。図面中の数量が申請書の数量と合致しているか確認してください。（数量については数量総括表でも可）

③ 縦断図

管路・水路等で縦断図があれば添付をお願いします。

④ 横断図

占用物件の位置・延長・幅・高さ・（埋設の場合）土被り厚・道路幅員・道路付属物（ガードパイプ、街路樹など）、他の占用物件（電柱、標識など）があれば記載してください。あわせて縮尺等を記載してください。（側溝や水路等の構造物を下越しする場合は埋設管との離隔を記載）

⑤ 構造図

占用物件の構造図を記載してください。

⑥ 現況写真

占用しようとする場所の写真に、占用物件の位置を赤線で記入してください。

⑦ その他

占用物件の種類等により上記以外の書類を追加で依頼する場合がありますので、担当者にご相談ください。

【例】委任状、理由書、承諾書、強度・安定計算書

3 提出部数

・ 道路（河川等）工事承認申請書、占用許可申請書、占用協議書

（様式第1号～3号）・・・各1部

※道路法第32条（占用工事）に係る申請以外、様式第2号は不要です。

※様式第4号は、工事完了後に速やかに提出してください。

※道路交通法の適用を受ける場合は、別途、申請者から所管警察署長へ道路使用許可申請が必要となります。

・ 添付資料

上記「添付資料等の作成要領」に基づき作成した資料を各様式に添付してください。